

40. 大型ナメコ新品種「福島N2号」

福島県林業研究センター 林産資源部
平成12～15年度林業研究センター報告
分類コード 18-16-06000000

部門名 林業－食用キノコ－育種・選抜
担当者 熊田洋子・古川成治

I 新技術の解説

1 要旨

(1) 育成方法

ナメコ野生株（高知県石鎚山採取）と、多収量の性質を持つナメコ市販品種を交配し、栽培、子実体分離を6回繰り返すことにより選抜を行い、「福島N2号」を育成した。

(2) 「福島N2号」の特性

形態的には、従来品種に比べ直径約2倍の大きな傘を持ち、柄の長さはやや短く、太さは2倍以上で柄の基部が膨らむ性質があり、極めて特徴的な子実体形質を有する。（写真－1及び表－1）

また、通常の間接栽培の条件下で、既存の間接用ナメコ品種とほぼ同等の収量を示し、接種から子実体収穫までに要する日数も同等である。このため、一般的なナメコ生産施設において、通常の方法で栽培が可能である。（表－2）

2 期待される効果

「福島N2号」は、子実体が大型のため、カットやスライスしたり、裂いたりして料理できることから、従来の食感重視の料理法にとらわれず、焼き物、炒め物、パスタ、スープ等、ナメコの用途を大幅に広げる調理素材として需要が期待される。

また、従来廃棄処理していた柄についても、柄が極めて太く多様な調理に利用可能なため、多大な労働力を要する足切り作業が軽減できる。

3 適用範囲

大型ナメコ生産を希望するナメコ栽培者

4 普及上の留意点

事前に販売先を検討すること。

II 具体的データ

表-1 形態特性(mm)

測定項目	菌株名		
	福島N2号	市販菌A	市販菌B
平均傘径	27.6	14.1	14.1
平均柄長	19.7	20.9	24.9
平均柄径	11.6	4.4	4.6



写真-1 「福島N2号」

表-2 ビン栽培における子実体収量(g/ビン)

繰り返し	菌株名		
	福島N2号	市販菌A	市販菌B
1	157.8	139.6	151.0
2	157.8	152.5	148.4
3	164.7	171.3	155.0
4	172.9	147.8	155.6
5	164.1	151.3	160.6
平均	163.5	152.5	154.1
標準偏差	6.2	11.6	4.7



写真-2



写真-3

III その他

- 1 執筆者 : 熊田洋子、熊田 淳
- 2 その他の資料等 :
 - (1) 福島の野菜 (2002 5.6月号)
 - (2) 東北森林科学会第7回大会講演要旨集 : 64 (2002)
 - (3) 福島の野菜 (2003 11.12月号)